

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社 上場取引所 東・大・名・札・福  
 コード番号 2503 URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 占二  
 問合せ先責任者(役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 坪井 純子 (TEL) 03-5540-3455  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	1,606,136	3.7	105,249	△12.3	91,215	△21.1	25,374	△5.8
23年12月期第3四半期	1,549,179	△3.3	119,969	5.5	115,566	7.6	26,928	11.2

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 56,553百万円(80.8%) 23年12月期第3四半期 31,276百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	26.38	25.58
23年12月期第3四半期	28.00	27.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,798,829	1,066,918	31.1
23年12月期	2,854,254	1,047,895	29.9

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 871,068百万円 23年12月期 852,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	13.50	—	13.50	27.00
24年12月期	—	13.50	—		
24年12月期(予想)				13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,220,000	7.2	155,000	8.5	134,000	△2.1	48,000	548.0	49.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年12月期3Q	965,000,000株	23年12月期	965,000,000株
24年12月期3Q	3,299,237株	23年12月期	3,268,428株
24年12月期3Q	961,710,265株	23年12月期3Q	961,826,141株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

(2) 決算補足説明資料は本日11月2日 (金) に、また、本日開催の決算説明会 (電話会議) における資料・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。

(当社ホームページURL)

<http://www.kirinholdings.co.jp/irinfor/event/explain/index.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成24年1月1日～平成24年9月30日）のわが国経済は、海外経済の減速状態がやや強まる中で景気持ち直しの動きが一服していますが、個人消費については、雇用環境が改善傾向にあるなかで底堅く推移しています。

このような状況の中、キリングroupでは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2015」（略称：KV2015）実現に向けた第2ステージである「2010－2012年キリングroup 中期経営計画」の最終年度として、引き続き収益性向上に向けた施策を進める一方、売上反転・拡大を目指し、ブランド力・営業力の強化とお客様への新たな価値の提案に取り組みました。

国内においては、キリンビール㈱、メルシャン㈱、キリンビバレッジ㈱が、バリューチェーン全体での構造改革を継続するとともに、商品ブランド基軸の経営による総合飲料グループ戦略を推進しました。

海外では、ライオン社とスキンカリオール社が引き続き収益成長と効率性向上のための施策に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は、主に海外酒類・飲料事業でスキンカリオール社の損益を取り込んだこと等により増加しましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益については、国内酒類事業においてキリンビール㈱の販売数量が減少したことや医薬・バイオケミカル事業で化学品事業が連結除外となったこと等の影響により、減少しました。

連結売上高	1兆6,061億円（前年同期比	3.7%増）
連結営業利益	1,052億円（前年同期比	12.3%減）
連結経常利益	912億円（前年同期比	21.1%減）
連結第3四半期純利益	253億円（前年同期比	5.8%減）

なお、オーストラリアのライオン社は、クラフトビールの製造・販売を行うリトル・ワールド・ビバレッジ社につき、ライオン社が保有していた発行済株式総数の約36%以外の全株式を取得し、100%子会社としました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

〈国内酒類事業〉

キリンビール㈱では、選択と集中により基盤ブランドを強化するとともに、お客様のニーズに応えた新しい価値の創造に取り組んでいます。ビールでは、新食感の生ビール「一番搾り フローズン〈生〉」により新しい飲み方を提案し、売上に貢献しました。また、株式会社セブン&アイ・ホールディングスと共同開発したプレミアムビール「GRAND KIRIN（グランドキリン）」も発売後約2カ月強で年間計画販売数を達成し、目標を上方修正しました。これらの取り組みによる新たな価値提案に加え、ブランド強化に向けた積極的な販売促進も行いましたが、需要喚起に向けた競争が激しくなる中、ビール・発泡酒・新ジャンル合計の販売数量は前年を下回りました。RTD※では、「キリンチューハイ 氷結」の季節限定品等を発売し、販売数量が前年を上回りました。ノンアルコール飲料では、「キリン ノンアルコール・チューハイ ゼロハイ」ブランドを投入し、市場のさらなる活性化と拡大を図りましたが、「キリンフリー」の販売減少により、全体では前年を下回りました。

メルシャン㈱では、カテゴリーNO. 1を目指した商品ブランドの育成・強化を図っています。ワイ

ン市場が引き続き伸張する中、「メルシャン ビストロ」、「メルシャン おいしい酸化防止剤無添加ワイン」やリニューアルしたカリフォルニアワイン「フランジア」等のデイリーワインを中心に販売が好調に推移し、国産・輸入とも前年を上回りました。

これらの結果、キリンビール㈱において販売数量が減少したこと等により、売上高、営業利益とも減少しました。

※RTD：Ready to Drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料。

国内酒類事業連結売上高	6,223億円（前年同期比	2.2%減）
国内酒類事業連結営業利益	436億円（前年同期比	23.4%減）

#### 〈国内飲料事業〉

キリンビバレッジ㈱では、継続的に収益構造改革を推進するとともに、商品力と営業力の強化を進め、成長による収益拡大の実現に向けた施策に取り組んでいます。

猛暑の影響もあり、販売は好調に推移しました。新たな炭酸飲料領域を創造した特定保健用食品史上初のコーラ系飲料「キリン メッツ コーラ」においては、年間販売計画を当初目標の7倍の700万ケースに上方修正し、ブランド育成に向けた販売促進等の施策に注力しました。また、リニューアル新発売した「キリン 世界のKitchenから ソルティライチ」も、おいしく水分と塩分を補給できる熱中症対策飲料と評価され、新発売の昨年を上回る販売を記録しました。これらに加え、水カテゴリーの販売好調もあり、販売数量は前年を上回りました。

これらの結果、売上高、営業利益とも増加しました。

国内飲料事業連結売上高	2,502億円（前年同期比	5.9%増）
国内飲料事業連結営業利益	33億円（前年同期比	4.4%増）

#### 〈海外酒類・飲料事業〉

豪州経済には減速感が見られ、食品・小売を中心とした国内消費財産業は依然厳しい事業環境下にあります。ライオン社では、酒類・飲料事業ともにブランド力強化を重視したマーケティングを行い、収益性と効率性の向上に努めています。

ライオン社酒類事業では、新しいカテゴリー創出の取り組みや高価格帯への商品構成シフトを引き続き進めました。豪州NO.1ブランドである「フォーエックス・ゴールド」等の主力ブランドの販売が堅調に推移するとともに、クラフトビールのリーディングブランド「ジェームス・スクワイア」の好調や販売権を取得した国際ブランドの貢献もあり、販売数量は前年を上回りました。

一方、同社飲料事業では、中期的な収益性改善に向けた事業構造改革を引き続き進めました。消費者のさらなる低価格志向をはじめ厳しい市場環境が続く中、販売数量は前年を下回りましたが、パーミエートフリーミルク（未加工乳）の発売、フレーバードミルク（乳飲料）やスペシャリティチーズ等において、高付加価値商品のブランド強化を図りました。

ブラジル経済は、成長に若干の減速感が見られますが、個人消費は引き続き堅調に推移しています。スキンカリオール社では、基盤ブランドの強化をはじめとした収益性向上のためのマーケティング・営業活動を推進するとともに、調達プロセスの抜本的改善やバリューチェーンの機能強化等の施策を実行しました。ビールでは、主力ブランドである「ノヴァ・スキン」に加えて新たに発売した「スキン・ノ・グラウ」、飲料では炭酸カテゴリーの「スキン」を中心に販売が大変好調に推移し、酒類・飲料事業とも販売数量は前年を上回りました。

これらの結果、売上高、営業利益とも増加しました。

海外酒類・飲料事業連結売上高	4,253億円 (前年同期比)	22.3%増)
海外酒類・飲料事業連結営業利益	171億円 (前年同期比)	14.1%増)

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱において、主力製品である腎性貧血治療剤「ネスブ」等の販売が好調に推移したものの、4月に実施された薬価基準引き下げの影響等により、国内の医療用医薬品の売上高は前年を下回りました。

医薬品の輸出及び技術収入では、輸出が堅調に推移したことに加えて、協和キリン富士フィルムバイオロジクス㈱からの技術収入を計上したため、前年の売上高を上回りました。

研究開発においては、成人T細胞白血病リンパ腫治療剤「ポテリジオ」（独自の抗体技術を用いたヒト化モノクローナル抗体）の承認を3月に取得し、5月には販売を開始しました。海外においては、欧米で成人T細胞白血病リンパ腫を対象としたKW-0761の第Ⅱ相臨床試験を8月に開始しました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、アミノ酸・核酸関連物質を中心とする医薬・工業用原料の海外での需要が引続き旺盛であることを受け、増産対応や販売価格の見直しを実施したものの、円高の影響を受けたことから、売上高は前年を下回りました。

これらの結果、前年3月末に化学品事業を連結から除外した影響等もあり、売上高、営業利益とも減少しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	2,380億円 (前年同期比)	6.3%減)
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	392億円 (前年同期比)	3.4%減)

〈その他事業〉

キリン協和フーズ㈱では、中食・外食用事業およびパン用事業が堅調に推移した一方、主力の加工用事業において、市場全般の低迷やうまみ調味料他主要品目における競争環境の厳しさが影響し、売上高は減少しました。

その他事業全体としては、売上高、営業利益とも減少しました。

その他事業連結売上高	700億円 (前年同期比)	6.3%減)
その他事業連結営業利益	35億円 (前年同期比)	27.3%減)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金等が増加したものの、受取手形及び売掛金、有形固定資産、無形固定資産等の減少により、前連結会計年度末に比べ554億円減少して2兆7,988億円となりました。

負債は、賞与引当金等が増加したものの、有利子負債、未払法人税等、退職給付引当金等の減少により、前連結会計年度末に比べ744億円減少して1兆7,319億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ190億円増加して1兆669億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成24年8月3日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,218	97,619
受取手形及び売掛金	406,448	384,991
商品及び製品	112,986	122,444
仕掛品	30,937	33,658
原材料及び貯蔵品	49,059	49,814
その他	88,664	77,866
貸倒引当金	△6,250	△4,092
流動資産合計	758,065	762,304
固定資産		
有形固定資産	763,833	738,671
無形固定資産		
のれん	713,749	688,531
その他	102,511	104,824
無形固定資産合計	816,261	793,355
投資その他の資産		
投資有価証券	417,619	409,679
その他	105,156	101,354
貸倒引当金	△6,681	△6,535
投資その他の資産合計	516,094	504,499
固定資産合計	2,096,189	2,036,525
資産合計	2,854,254	2,798,829

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146,955	145,683
短期借入金	85,517	56,911
コマーシャル・ペーパー	121,989	103,989
1年内償還予定の社債	23,111	99,997
未払法人税等	26,783	24,337
引当金	7,549	17,135
その他	303,512	277,933
流動負債合計	715,419	725,988
固定負債		
社債	365,487	285,502
長期借入金	468,999	472,457
退職給付引当金	65,516	63,117
その他の引当金	29,458	27,591
その他	161,478	157,253
固定負債合計	1,090,939	1,005,923
負債合計	1,806,359	1,731,911
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,417	81,414
利益剰余金	801,856	801,677
自己株式	△3,271	△3,299
株主資本合計	982,048	981,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,116	16,923
繰延ヘッジ損益	△279	△529
土地再評価差額金	△2,543	△2,543
為替換算調整勘定	△137,419	△124,619
その他の包括利益累計額合計	△129,126	△110,769
新株予約権	250	178
少数株主持分	194,722	195,671
純資産合計	1,047,895	1,066,918
負債純資産合計	2,854,254	2,798,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,549,179	1,606,136
売上原価	909,776	937,116
売上総利益	639,403	669,020
販売費及び一般管理費	519,433	563,770
営業利益	119,969	105,249
営業外収益		
受取利息	2,914	1,719
受取配当金	3,565	2,058
持分法による投資利益	7,945	—
その他	2,633	5,955
営業外収益合計	17,059	9,733
営業外費用		
支払利息	16,176	15,077
持分法による投資損失	—	1,612
その他	5,287	7,076
営業外費用合計	21,463	23,767
経常利益	115,566	91,215
特別利益		
固定資産売却益	16,227	4,679
投資有価証券売却益	1,619	2,712
関係会社株式売却益	15,543	323
その他	4,345	600
特別利益合計	37,735	8,315
特別損失		
固定資産除却損	1,712	4,789
固定資産売却損	760	598
減損損失	6,842	142
投資有価証券評価損	22,310	2,123
投資有価証券売却損	—	342
関係会社株式売却損	4,175	584
事業構造改善費用	4,298	3,684
東日本大震災関連損失	18,455	—
その他	9,651	2,000
特別損失合計	68,206	14,266
税金等調整前四半期純利益	85,094	85,264
法人税等	44,862	48,430
少数株主損益調整前四半期純利益	40,232	36,834
少数株主利益	13,303	11,459
四半期純利益	26,928	25,374

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,232	36,834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,899	5,756
繰延ヘッジ損益	△945	△321
為替換算調整勘定	△11,883	9,283
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,025	5,000
その他の包括利益合計	△8,955	19,719
四半期包括利益	31,276	56,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,450	43,731
少数株主に係る四半期包括利益	9,826	12,822

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内酒類・飲料		海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル			
	国内酒類	国内飲料					
売上高							
外部顧客への売上高	636,370	236,301	347,699	254,084	74,723	—	1,549,179
セグメント間の 内部売上高又は振替高	26,611	2,357	755	8,273	21,790	△59,788	—
計	662,981	238,658	348,455	262,358	96,514	△59,788	1,549,179
セグメント利益	56,935	3,231	15,036	40,644	4,860	△738	119,969

- (注) 1 「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益の調整額△738百万円には、セグメント間取引消去14,539百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,277百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内酒類・飲料		海外 酒類・飲料	医薬・バイ オケミカル			
	国内酒類	国内飲料					
売上高							
外部顧客への売上高	622,376	250,291	425,379	238,041	70,047	—	1,606,136
セグメント間の 内部売上高又は振替高	27,765	1,415	1,018	6,649	18,225	△55,074	—
計	650,141	251,706	426,397	244,691	88,272	△55,074	1,606,136
セグメント利益	43,611	3,373	17,157	39,264	3,532	△1,690	105,249

- (注) 1 「その他」の区分は、調味料などの食品事業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益の調整額△1,690百万円には、セグメント間取引消去14,376百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16,066百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用及び当社の基礎技術の研究開発費であります。  
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 2012年第3四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. その他情報

キリンホールディングス株式会社

2012年11月2日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	16,061	15,491	569	3.7%
売上総利益	6,690	6,394	296	4.6%
販売費及び一般管理費	5,637	5,194	443	8.5%
営業利益	1,052	1,199	△147	△12.3%
営業外収益	97	170	△73	△42.9%
営業外費用	237	214	23	10.7%
経常利益	912	1,155	△243	△21.1%
特別利益	83	377	△294	△78.0%
特別損失	142	682	△539	△79.1%
税金等調整前四半期純利益	852	850	1	0.2%
法人税等	484	448	35	8.0%
少数株主利益	114	133	△18	△13.9%
四半期純利益	253	269	△15	△5.8%
EBITDA ※	2,051	2,021	29	1.5%

※ EBITDA = 営業利益 + 持分法による投資損益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 特別損益

		2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	酒税抜き	13,745億円	13,120億円	625億円	4.8%
営業利益	のれん等償却前	1,437億円	1,551億円	△114億円	△7.4%
営業利益率	対酒税抜き・のれん等償却前	10.5%	11.8%		
	対酒税抜き・のれん等償却後	7.7%	9.1%		
海外比率	酒税抜き売上高	36%	32%		
D/Eレシオ		1.17	0.99		

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)
ライオン (豪ドル)	81.64	84.11
スキンカリオール (ブラジルレアル)	41.38	※1 —
サンミゲルビール (フィリピンペソ)	1.86	1.90
フレイザー・アンド・ニーヴ (シンガポールドル)	62.43	65.26

	2012年第3四半期 (実績)	2011年第3四半期 (実績)
ライオン	2011年10月～2012年6月	2010年10月～2011年6月
サンミゲルビール		2011年1月～2011年6月 ※2
フレイザー・アンド・ニーヴ		

※1 2012年第1四半期より取込

※2 2011年第2四半期より取込

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	16,061	15,491	569	3.7%
国内酒類	6,223	6,363	△139	△2.2%
キリンビール ※	5,555	5,708	△152	△2.7%
メルシャン	469	504	△35	△7.0%
その他・内部取引消去	198	150	47	31.6%
国内飲料	2,502	2,363	139	5.9%
キリンビバレッジ	2,512	2,383	129	5.4%
その他・内部取引消去	△9	△20	10	—
海外酒類・飲料	4,253	3,476	776	22.3%
ライオン	2,975	3,221	△245	△7.6%
スキンカリオール	1,020	—	1,020	—
その他・内部取引消去	257	255	1	0.6%
医薬・バイオケミカル	2,380	2,540	△160	△6.3%
協和発酵キリン	2,446	2,623	△176	△6.7%
医薬	1,822	1,680	141	8.4%
バイオケミカル	561	562	△0	△0.1%
化学品 他	62	380	△317	△83.6%
その他・内部取引消去	△66	△82	16	—
その他	700	747	△46	△6.3%

※ キリンビールとキリンビールマーケティングの合算値

<参考> 酒税売上高

(単位：億円)

	2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)
キリンビール	3,298	3,387

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	1,052	1,199	△147
国内酒類	436	569	△133
キリンビール マネジメントフィ等	494 △88	638 △91	△143 2
計	406	547	△141
メルシャン マネジメントフィ等	8 △3	5 △3	2 △0
計	4	1	2
その他	25	19	5
国内飲料	33	32	1
キリンビバレッジ マネジメントフィ等 のれん償却額	76 △30 △14	75 △28 △14	0 △1 △0
計	30	31	△1
その他	3	0	2
海外酒類・飲料	171	150	21
ライオン(連結組替後) のれん償却額 ブランド償却費	359 △189 △28	400 △194 △71	△40 5 42
計	141	134	7
スキンカリオール のれん償却額	82 △69	— —	82 △69
計	12	—	12
その他	17	15	1
医薬・バイオケミカル	392	406	△13
協和発酵キリン(連結組替後) 医薬 バイオケミカル 化学品 他 のれん償却額消去 のれん償却額	392 348 22 △0 69 △46	406 331 30 22 69 △47	△13 17 △8 △23 △0 0
その他	35	48	△13
全社費用・セグメント間取引消去	△16	△7	△9

マネジメントフィ等：キリンホールディングスへのグループ経営の対価・KIRINブランドの使用対価

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール	酒類限界利益減	△56	ビール販売数量減 △9千kl △12億 発泡酒販売数量減 △32千kl △33億 新ジャンル販売数量減 △2千kl △3億 RTD販売数量増 13千kl 12億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	3	麦芽価格安 3億 他
	販売費増	△100	販売促進費・広告費増 △114億 他 (ビール・発泡酒・新ジャンル △80億、RTD △20億 他)
	その他費用減	12	人件費減 6億、減価償却費減 16億 情報システム費減 14億 昨年度東日本大震災関連損失振替額 △25億 他
計		△141	
キリンビバレッジ	数量差異	117	国内販売数量増 1,080万ケース
	コストアップ	△6	原材料コストアップ △13億、原材料コストダウン 7億
	容器構成差異等	△11	
	販売費増	△116	販売促進費・広告費増 △104億、運搬費増 △12億
	その他費用減	15	減価償却費減 5億、雑費減 4億、販売機器費減 1億 他
計		△1	

主な営業費用

(単位：億円)

		2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)
販売促進費		1,239	1,071
広告費		633	442
キリンビール	販売促進費・広告費	616	502
キリンビバレッジ	販売促進費・広告費	830	726
研究開発費		409	415
協和発酵キリン (内部取引除く)		331	336

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2012年 第3四半期 (実績)	2011年 第3四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△140	△44	△96	
金融収支	△112	△96	△16	
持分法による投資損益	△16	79	△95	
サンミゲルビール	32	4	28	現地持分損益 27億 他
フレイザー・アンド・ニーヴ	19	24	△4	現地持分損益 △1億
その他	△67	50	△118	のれん償却額 △3億
その他	△11	△26	15	キリンアムジェン △52億 他
経常利益	912	1,155	△243	
特別損益	△59	△304	245	
特別利益	83	377	△294	
固定資産売却益	46	162	△115	
投資有価証券売却益	27	16	10	
関係会社株式売却益	3	155	△152	
その他	6	43	△37	
特別損失	△142	△682	539	
固定資産除却損	△47	△17	△30	
固定資産売却損	△5	△7	1	
減損損失	△1	△68	66	
投資有価証券評価損	△21	△223	201	
投資有価証券売却損	△3	—	△3	
関係会社株式売却損	△5	△41	35	
事業構造改善費用	△36	△42	6	
東日本大震災関連損失	—	△184	184	
その他	△20	△96	76	
法人税等	△484	△448	△35	
少数株主利益	△114	△133	18	
四半期純利益	253	269	△15	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2012年 第3四半期末	2011年 期末	増減額	増減内容
流動資産	7,623	7,580	42	
現金及び預金	976	762	214	
受取手形及び売掛金	3,849	4,064	△214	
棚卸資産	2,059	1,929	129	
その他	737	824	△86	
固定資産	20,365	20,961	△596	
有形固定資産	7,386	7,638	△251	
無形固定資産	7,933	8,162	△229	
のれん	6,885	7,137	△252	
その他	1,048	1,025	23	
投資その他の資産	5,044	5,160	△115	
資産合計	27,988	28,542	△554	
流動負債	7,259	7,154	105	
支払手形及び買掛金	1,456	1,469	△12	
有利子負債	2,608	2,306	302	・社債の長短振替による増加 CP償還及び借入金の返済による減少 他
その他	3,194	3,378	△184	
固定負債	10,059	10,909	△850	
有利子負債	7,579	8,344	△765	・社債の長短振替による減少 他
その他	2,479	2,564	△84	
負債合計	17,319	18,063	△744	
株主資本	9,818	9,820	△2	
その他の包括利益累計額	△1,107	△1,291	183	
新株予約権	1	2	△0	
少数株主持分	1,956	1,947	9	
純資産合計	10,669	10,478	190	
負債純資産合計	27,988	28,542	△554	

5. その他情報

(1) 主要な上場連結会社損益 (連結組替後)

2012年第3四半期実績

<連結子会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	2,446	369	330	153	78
のれん償却額消去		69	69	69	36
のれん償却額		△46	△46	△46	△46
連結取込計	2,446	392	353	175	68

<持分法適用関連会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	1,054	309	268	183	89
現地持分損益			89	89	89
ブランド償却費			△11	△11	△11
のれん償却額			△44	△44	△44
連結取込計			32	32	32
フレイザー・アンド・ニーヴ	2,508	388	388	210	31
現地持分損益			31	31	31
のれん償却額			△12	△12	△12
連結取込計			19	19	19

(2) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2012年 第3四半期		2011年 第3四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	509	△1.7	518	△5.5
発泡酒	413	△7.1	445	△10.1
新ジャンル	533	△0.3	535	△2.2
計	1,457	△2.8	1,499	△5.8
RTD	154	9.2	141	△4.9
ノンアルコール飲料	35	△16.3	41	△31.5
売上高	億円	%	億円	%
ビール	2,116	△1.6	2,150	△5.3
発泡酒	1,262	△7.1	1,359	△10.1
新ジャンル	1,399	△0.5	1,405	△2.2
計	4,778	△2.8	4,915	△5.8
RTD	424	9.1	388	△4.8
焼酎・洋酒・その他 ※	352	△12.6	403	△16.1
売上高計	5,555	△2.7	5,708	△6.6

上記売上数量は輸出分を除く

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ

<カテゴリー別販売実績（連結）>

清涼飲料			2012年 第3四半期				2011年 第3四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	1,576	11	△5	100	1,581	12	△159	91
		烏龍茶	204	2	3	101	201	2	△21	91
		紅茶	3,271	23	△156	95	3,427	26	268	108
		計	5,051	36	△158	97	5,209	40	88	102
	コーヒー飲料	2,172	16	△147	94	2,319	18	△155	94	
	果実・野菜飲料	1,741	12	389	129	1,352	10	△255	84	
	炭酸飲料	1,152	8	566	197	586	5	△233	72	
	水	2,663	19	60	102	2,603	20	367	116	
その他	1,310	9	370	139	940	7	△82	92		
国内市場清涼飲料計			14,089	100	1,080	108	13,009	100	△270	98

<容器別販売実績（連結）>

清涼飲料			2012年 第3四半期				2011年 第3四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	2,888	20	△237	92	3,125	24	△187	94
PET容器	大型PET	2L	3,032	22	306	111	2,726	21	450	120
		1.5L、1L、900ml、750ml	1,127	8	15	101	1,112	9	△9	99
		大型PET計	4,159	30	321	108	3,838	30	441	113
	小型PET	500ml	4,573	32	918	125	3,655	28	△276	93
		350ml以下	975	7	△53	95	1,028	8	56	106
		小型PET計	5,548	39	865	118	4,683	36	△220	96
PET計	9,707	69	1,186	114	8,521	66	221	103		
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、紙、ギフト 他	1,494	11	131	110	1,363	10	△304	82	
国内市場清涼飲料計			14,089	100	1,080	108	13,009	100	△270	98

③ 協和発酵キリン

売上高		2012年 第3四半期		2011年 第3四半期	
		実績	前年比	実績	前年比
領域	主要製品名	億円	%	億円	%
腎	ネスプ	410	102	404	143
	エスポー	29	72	40	47
	(ネスプ/エスポー)	(439)	(99)	(444)	(121)
	レグパラ	95	116	82	122
免疫・アレルギー	アレロック	218	98	222	116
	パタノール	85	87	98	164
がん	グラン	98	93	105	94
循環器系	コニール	125	88	143	93